

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	◎	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・4月の宿泊の予約ペースは2か月前から急に良くなり始め、前年を10%上回っている。レストランは今年の1月から好調が続いており、4月も前年より5%以上プラスに転じている。
	◎	都市型ホテル (宿泊担当)	単価の動き	・今月はインバウンド需要の好調に加え、国内レジャーも高単価で販売できている状態である。単価が上がったことで稼働に鈍化はみられるものの、売上は前年を上回る水準となっている。
	◎	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・4月上旬にグレードの高いレースが開催されたため、売上を確保できた。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・行政が行ったプレミアムポイント還元事業の影響で、まとめ買いやついで買いがあり、客単価が上がった。
	○	一般小売店 [茶]（経営者）	販売量の動き	・特に今年に入って、インバウンドを中心とした抹茶ブームで売上が上がってきた。当社は地方を中心に営業をしており、インバウンドとは無縁と考えられてきたが、今年から良い影響が出てきた。
	○	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・商品の動きが活発な季節になってきたので、販売点数が伸びてきている。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数と販売数が伸びている。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・朝夕の来客数が増加している。事業所や工場に出入りする人が増えており、主食中心に購入が増加している。
	○	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・例年は、料金が決まっている食べ放題や飲み放題の職場関係の利用が多いが、今年は物価上昇による客の節約志向もあり、一般客やファミリー客の増加が目立ち、平日の売上を押し上げている。また、支払金額の上限を定める客が増加している。
	○	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・毎年1～2月はオフシーズンで動きが弱い時期であるが、それと比較すると持ち直している。一方で前年同期と比較すると国内外共に団体の動きが弱い。
	○	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・大型連休の予約状況が好調である。
	○	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・来場者数が今月に入ってから例年よりも伸びている。インバウンドは例年並みのため、国内、県内利用者が増えている。暖かくなり好天にも恵まれている。
	□	商店街（理事）	お客様の様子	・客が物価の上昇や天候不順に敏感になっている。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・多少動きが出ているが、まだその動きは弱い。
	□	一般小売店 [印章]（経営者）	販売量の動き	・年度替わりの需要が一息ついた気配がある。
	□	一般小売店 [洋裁附属品]（経営者）	来客数の動き	・売出しが始まるゴールデンウィーク前は客が外出を控える。
	□	百貨店（広報担当）	来客数の動き	・来客数はほぼ前年並みで推移しており、売上は商品群によって多少の増減がみられるものの、全体ではおおむね変わらない。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客に特定ブランドの特定商品しか購入しないという傾向がある。
	□	百貨店（総務・経理担当）	販売量の動き	・インバウンドの動きに鈍化が目立つ。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品中心の値上げの継続は家計に大きく影響しており、現在では主食である米の値上がりに加え、米自体の不足が問題である。その他の値上げ商品も多く、単価上昇で売上は上がるものの、販売点数は落ち込んでいる状況である。今後も値上げは続くと思われる。客との会話からも食費に対する支出は抑える傾向であることがうかがえ、収入面でのプラスもみられない。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・4月からの値上げ報道により、3月末に駆け込み需要が発生した。値上げによる1品単価上昇はあるが、販売点数は前年を割っている状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・4月に入り食品や酒などが更に値上がり、客の財布のひもは固く、買上点数が前年比98%となっている。客からも食品の値段が上がったという声、特に米が高いという声が多い。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	お客様の様子	・特売日に客が集中する傾向は続いており、気になる商品を見つけても、価格を見て棚に戻す様子をよくみる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・大型連休もあり、例年母の日需要が見込める時期だが、来客数は今のところ前年を下回っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・米の仕入れは安定しているが、価格は上向きで全体を押し上げている。来客数と買上点数は横ばいで、値上げによる買い控えはみられない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（支店長）	来客数の動き	・単価上昇により売上が上がっているが、来客数が伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・商品の仕入価格が短期間で上昇し、厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・物価の上昇率に賃上げ率が見合っていない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	販売量の動き	・ガソリンや食料品の値上がりに加えて、増税が家計を直撃しており、衣料品は二の次になっている感がある。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	お客様の様子	・来客数が減少し、客単価も下がっているため、販売強化に努めているものの、苦戦の連続である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年を下回り、売上も減少している。暑くなっているため、比較的季節商材が動いているが、売上を落としている他の商品をカバーできていない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・販売量が冷蔵庫は前年の110%、洗濯機は90%、エアコンは110%、テレビは80%と、平均すると前年並みとなっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・価格の安い商品に問合せが増えた分、来客数が伸びている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（業務担当）	お客様の様子	・物価上昇により車両購入は後回しになっているため、販売台数に変化はない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・例年、新年度が始まると市場の動向、客の動きは低迷してしまう。4月も同じ状況にあり、苦戦を強いられている。ゴールデンウィーク明けからは回復してくるとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔土産物〕（経営者）	お客様の様子	・大阪・関西万博に行っているのか、観光バスがめっきり少なくなっている。米、野菜、土産品など全て値上げのためか、客は買い控えの様子である。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・来客数と売上が伸びている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは国内旅行が前年比微減、海外旅行は前年並みで、急激な回復は期待できない。大阪・関西万博開催で宿泊旅行より日帰り旅行が増加したとみている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・4月に入り、会社関係、学校関係の利用を期待していたが、利用客は少なかった。
<input type="checkbox"/>	タクシー会社（営業所長）	お客様の様子	・外国人の動きは顕著であるが、一般乗客については動きが鈍い。特に夜間の需要が前年より低下している。駅ロータリーも車両が余る状態が多い。
<input type="checkbox"/>	放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・ここ数か月は、ケーブルテレビ利用料の延滞率、回収率とも横ばいが続いている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・値上げが続いている状況下、特に費用メリットが生じるキャンペーンやインセンティブ付帯でないと、客の関心を引けない状況になっている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画・総務担当）	販売量の動き	・価格の安価な競合他社へ客が流れる傾向は続いているが、高付加価値のある10ギガへの契約増加傾向も続いている。

□	美容室（経営者）	お客様の様子	・物価上昇で客が節約志向にあり、美容院の費用も節約している。
□	設計事務所	お客様の様子	・米国の関税で製造業の将来計画にブレーキが掛かるようにみえたが、今のところ計画どおりに進んでいる。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍の時期に見合わせていた、住宅、店舗、オフィスなどのプロジェクトが動き出した。
▲	商店街（代表者）	単価の動き	・客が商品の購入を迷い、最終的に購入を先送りしている。
▲	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	競争相手の様子	・最近、同業者がチラシの低価格商品をアピールし始めた。
▲	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・食料品の価格高騰を背景に、来客数と売上の減少が続いている。
▲	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円を超えるブランドバッグや数十万円の工芸品などが売れたが、前年実績を大幅に下回っている。
▲	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・他業種の人に話を聞くと、食料品は売上好調とのことであるが、百貨店は非常に厳しい。やはり割安感では他業種に勝てないため、値上がりの影響は大きい。
▲	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・富裕層の来店頻度が低くなり、購入も減っている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・売上は前年並みを維持しているが、値上げもあり、販売点数が若干減少している。
▲	スーパー（店長）	競争相手の様子	・高価格帯のスーパーの来客数が鈍化している。ディスカウントストアである当店の来客数は問題なく推移しているが、1人当たりの買上点数が伸び悩んでいる。
▲	スーパー（財務担当）	単価の動き	・節約により、1人当たりの買上点数が前年割れのなか、値上げにより客単価は前年を上回っているものの、野菜の出荷量の増加及び備蓄米の放出によりそれらの単価がやや下がっているため、下落傾向にある。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・米国の関税など不安要素が多い。
▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・車両本体価格、オプション、タイヤといった部品など、一般的に価格が上がっており、買換えではなく車検を受ける、あるいは他社の安い車検を受ける客が増えている。決算商戦も終わり、全体的に販売台数は落ちている。
▲	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・4月の販売量は前年比75%と大変厳しい状況である。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・物価高により生活必需品でない物は買い控えるか、安い物で我慢するかになっている。商品価格の上昇で売上は変わらないが、作業件数が減っている。
▲	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	お客様の様子	・政府の物価高対策の効果がなく、物価上昇が止まらないため、景気がやや悪くなっている。
▲	高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・ターミナル駅の新施設ができてから来客数が激減している。
▲	一般レストラン（経営者）	それ以外	・米国の関税引上げもあり、景気は混迷している。
▲	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・駅ビルの開業も影響しているのか、来客数の減少が大きく、前年比では10%近く落ち込んでいる。常連客の来店頻度が下がっており、月2回来ていた客が1回になっている。物価高騰に伴う買い控えもあるのかもしれない。
▲	観光型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは休日の並びが良くないことと、4月からの値上げも影響しているのか、ゴールデンウィーク中の平日の宿泊予約の入りが悪い。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会や花見で街中にはにぎわう時期であるが、前年と比べてそのような会が少なかった様子であり、売上も減少している。
▲	通信会社（工事担当）	それ以外	・米やガソリンの価格高騰による影響がある。

	▲	通信会社（総務担当）	それ以外	・最近では米やガソリンの価格が高止まり傾向にあり、米国の関税措置への対応も不透明である。また、当県の大学では定員割れによる経営権の譲渡や短期大学の募集停止等、少子高齢化の影響が出ている。
	▲	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・物価上昇を製品に転嫁すると、途端に客は購入しなくなる。
	▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・続く物価高騰で家計の節約が続いている。
	▲	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・米を始めとする物価高騰や米国の関税問題を受けて、客の生活防衛意識が高まっている。
	▲	住宅販売会社（住宅設計担当）	来客数の動き	・例年、来客数は4月に落ちる傾向があるものの、それを踏まえても状況はやや悪くなっている。
	▲	住宅販売会社（事業推進担当）	お客様の様子	・4月に入り、例年と比較して集客がかなり落ち込んでいる。米国の関税の影響が大きいとみられる。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・物価高で消費が落ち込むなか、米国の関税引上げもあり、消費はますます冷え込んでいる。
	×	乗用車販売店（リース担当）	単価の動き	・食費などが増えても賃金は上がらないため、不要なメンテナンスを省こうとする客が多い。
	×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・メーカー各社の仕入価格の値上げで販売価格も値上げしたためか、春需要が少ない。前年同月比で減収減益である。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・主食である米の価格高騰だけではなく、品薄も影響している。
	×	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・当県は自動車関連企業が多いため、米国の関税措置の影響で、通常長期休暇となるゴールデンウィークの勤務シフトを変更して、早く商品を仕上げる企業が出てきている。長期休暇がなくなり、旅行の予約状況に影響が出てきている。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・給料の増加以上に物価が上昇しているため、客の支出に余裕がない。
	×	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客の収入が増加せず、買い控えているため、非常に動きが悪い。
企業 動向 関連 (中国)	◎	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは飛び石連休であるが、前年より受注量が増加している。
	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今のところ順調で、5月は忙しくなる。
	○	輸送業	受注価格や販売価格の動き	・受注が増えている。
	○	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度に入り、コンサル案件や処理案件共に増加し始めた。
	□	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ずっと変わらない感じで来ている。
	□	繊維工業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・米国の関税問題で、輸入品の価格が変動する可能性が高く、先行きが不透明となっている。
	□	化学工業（総務担当）	取引先の様子	・取引先からの受注や仕入状況に大きな変化はみられない。先行きも変化がみられない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け大口注文、輸出の引き合いも少なく、現在の生産水準が継続する見込みである。
	□	建設業（経営者）	取引先の様子	・プロジェクトの決定に時間を要している。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・多少の時期のずれは生じているものの、順調に予定案件が受注できており、当面は稼働率が高い状態で推移する。物価上昇については、価格転嫁が可能な情勢になりつつある。
	□	輸送業（業務推進担当）	取引先の様子	・特に大きなプラス・マイナスの要素もなく、取引先の動向に目立った様子はない。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・域内の大手プラント企業の生産量低迷により、受注量は低位横ばいとなっている。
	□	不動産業（総務担当）	それ以外	・賃貸住宅の需要時期であった2～3か月前と比べると落ち込んでいるが、単月で見ると例年と余り変わらない。

	▲	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・販売量や受注量から判断すると、客の節約意識が一段と加速しているようにみられる。客は商品を手取るが、元に戻し、購入しない姿がよくみられる。
	▲	金属製品製造業 (総務担当)	競争相手の様子	・客先が中国向けの大型案件を受注したため、定時間工数分以上の受注量があり、その状況は3か月前と変わっていない。月内で増産することとなり、原材料を追加購入する際、以前とは違って調達に困らない状況であり、同業他社は受注が少ないことが裏付けられる。
	▲	一般機械器具製造業(管理担当)	受注量や販売量 の動き	・当社は北米市場へ多くの製品を輸出しているが、米国の関税の問題による出荷減少、生産計画減少が見え始めた。また、円高による影響も出始めている。
	▲	電気機械器具製造業(総務担当)	受注価格や販売 価格の動き	・引き続き原材料の値上げがあるものの、なかなか販売価格への転嫁が難しい状況である。また、海外受注分についても、受注時に比べ円高なので利益圧迫の傾向である。
	▲	建設業	受注価格や販売 価格の動き	・多種多様なものの物価上昇が続いている。
	▲	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・米国の関税政策により、製造業の客の輸出意欲が急速に冷え込んでいる。新規の業務も見通せないため中止となった。
	▲	輸送業(企画担当)	取引先の様子	・設備計画のための予算見積りを取っていたが、かなりコストが上がっており、業者側が原材料価格等の上昇を気にしている。そのため設備投資計画の件数も制限されている。
	▲	通信業(企画担当)	受注量や販売量 の動き	・データセンターに関する引き合い量が極端に減少している。経済動向も不安定であり、新たな投資に向けた動きが鈍くなっている。不確定要素があるため、ICT関連の取引減少にも通じている。
	▲	金融業(経済産業調査担当)	それ以外	・県内企業の輸出や生産の動きに足踏み感が強まっている。
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
(中国)	○	人材派遣会社 (求職者対応)	求職者数の動き	・応募数は増加しているが、年齢層が高く、スキル面の不足で案内できる人材が少ない状況である。
	○	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・毎年この時期は就職や転職をする人が多く、人の動きが活発である。ただし、新型コロナウイルス感染症発生前ほどは回復しておらず、ここ数年のなかでは微増という状況である。
	○	求人情報誌製作 会社(総務担 当)	それ以外	・季節要因もあるが、企業の求人広告掲載が増加傾向である。
	○	民間職業紹介機 関(人材紹介・ 派遣担当)	求職者数の動き	・人材紹介事業において、3か月前と比較して求職者からの問合せ数が114%、利用登録数も119%となっている。
	○	学校[短期大 学](進路指導 担当)	周辺企業の様子	・求人票において、前年度よりも新卒初任給を上げる企業が若干増えている。
	□	人材派遣会社 (事業部長)	それ以外	・受注は好調だが、人手不足からマッチングに苦戦し、派遣の就業人数は横ばいとなっている。一方で派遣の請求単価は継続的に上昇しており、売上は堅調に推移している。
	□	求人情報誌製作 会社(広告担 当)	求職者数の動き	・2026年の新卒の内々定保有率は3月末時点で54.6%と高く、大手メディア企業の調べでは、特に理系学生は7割近くの内定率となっている。インターンシップ先が実質の企業選択の要因となっており、多くの学生はインターンシップに参加した先から内々定を得ており、そのなかから入社先を決定する傾向にある。
	□	職業安定所(事 業所担当)	求人数の動き	・有効求人数は前年同月比で減少が続いているものの、有効求人倍率はほぼ横ばいとなっている。
	□	民間職業紹介機 関(職員)	周辺企業の様子	・欠員を理由とする補充よりも、業績向上、組織力強化を理由とする採用が目立つ。
	▲	求人情報誌製作 会社(大卒就職 支援担当)	周辺企業の様子	・米国の関税への対応のため、投資を抑える動きが見られる。

	▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・人件費や原材料価格の高騰、米国の関税等、想定外の状況に地域の製造業を中心に慎重姿勢がうかがえる。
	×	—	—	—